

「温泉から広がった私たち」 ～地域の活性化を目指して～



NPO 法人ハート in
ハートなんぐん市場
マネージャー
精神保健福祉士
中野 良治



特集 2

愛南町

法人の設立

平成18年9月にNPO法人ハート in ハートなんぐん市場は設立された。当時の愛南町内の情勢は、長引く一次産業の低迷や町で一番の雇用吸収力のあった企業の撤退、それに関連した企業の倒産などが相次いだ後であった。町には「閉塞感」が漂っていたことを記憶している。

そのような中、この現状をわずかでも打破するために、地元の活性化につながる産業を興すことで雇用を生み出し、事業を通じて地域貢献を図れないかとの思いからNPO法人ハート in ハートなんぐん市場は設立された。

山出憩いの里温泉の運営スタート

町営であった山出温泉を平成19年4月より指定管理者として愛南町から委託を受け運営させていただいており、温泉、宿泊、レストラン、キャンプ場の運営を収益事業で行っている。レストランでの産直バイキング（写真1・2）やドッグラン、ペット宿泊などの新規事業も実施し利用者増を図ってきた。特に、土日祝日のみ営業の産直バイキングでは、地元農家とも提携



写真2 地元産の素材を使った料理が並ぶ



写真1 産直バイキング

し地元産・手作りにこだわった料理が約40種類並び好評を得ている。障害を持たれた方々も温泉受付やレストラン、施設清掃など各部署で当たり前に勤務しており、いわゆる「就労の場」という点でも創出することができた。この施設の運営をするまでは「福祉」を基盤に活動をしてきたが、観光業、飲食業、販売業、農業、漁業等といった様々な分野の方々とネットワークを得ることができた。この点が、私たちの活動と視点の広がりを持たせてくれたと感じている。現在、町の人口減少に伴い利用者数も減ってはきているものの毎年6万人以上の来場者があり、交流拠点としての意味合いでも重要な位置づけと考えている。

現在の事業

○観葉植物レンタル

法人化につながった事業が「エコテリアなんぐん市場」（就労継続支援A型）（写真3）である。法人化以前より観葉植物のレンタル業開始に向け、ハウスの建設や顧客獲得の営業、併せて育成のノウハウを学ぶなど着々と準備を重ねた。現在では行政をはじめ地域の多くの方々に協力をいただき、業績も安定している。ここでは観葉植物の配達人を「グリーンポーター」と名づけ、街をみどりいっぱいにと街中を回っている。